

平成27年度研究成果発表会 ～世界に勝つものづくりを目指して～

6月24日(水)～26日(金)に都産技研 本部において平成27年度研究成果発表会を開催しました。3日間に会期を拡大し、650名を超える中小企業の方々にご参加いただき、都産技研の取り組みや成果についてご紹介しました。



ロボット開発や金属粉末AM(3Dプリンター)を軸に内容拡大

平成27年度研究成果発表会は、「世界に勝つものづくりを目指して」と題し、本年度の重点事業である「ロボット開発」や「金属粉末AM(3Dプリンター)」、「海外展開支援」に焦点をあて、特別講演やパネルディスカッションを行いました。

また、都産技研をはじめ、連携する大学や研究機関などによる「環境・省エネルギー」、「EMC・半導体」などの幅広い分野から118テーマの技術シーズや技術動向などの研究成果発表を行いました。これらの研究成果のパネル展示では、参加者と研究員とで活発な議論が交わされました。

参加者からは「開発技術を企業が取り入れる際のメリットが分かりやすく説明されていた」、「金属粉末AMに関する情報収集ができ、満足している」などの声が寄せられました。

ロボット開発

ロボット産業で“勝つ”ために必要なものとは？

東京大学名誉教授 佐藤 知正氏による特別講演では、科学技術の研究開発はあくまでも社会への浸透・定着を想定しつつ行うべきであり、技術ありきの発想に陥りがちな従来型の“ものづくり”に改革の必要性を訴えられました。

続いて、ロボット研究開発やロボットビジネスで活躍されている4名のパネリストによるパネルディスカッションを行いました。それぞれの立場から、ロボット産業におけるビジネスデザインやソリューションビジネスの必要性、ユビキタスネットワークロボットの可能性や、事業化で必須となる安全検証について議論を交わしました。



ロボットの研究開発には社会への浸透・貢献が必要と語る佐藤氏



ロボットによるサービスイノベーションについて議論したパネルディスカッション

金属粉末AM(3Dプリンター)

急速に立ち上がりつつある金属粉末AM市場

東京農工大学大学院工学研究院 教授 笹原 弘之氏によるAM(Additive Manufacturing)についての講演では、足し算の加工であるAMと、日本のものづくりでは主流とされる引き算の加工・切削等とを比較検証されました。金属粉末AMの特長や課題、近年の市場動向についても紹介されました。

続いて、金属技術株式会社 技術本部 山本 泰弘氏より金属AM装置の種類による造形物の特徴や違いについて解説が行われました。最後に、都産技研 機械技術グループ藤巻 副主任研究員より、金属粉末AMを含めた3Dデジタルものづくり支援について、都産技研の取り組みの概要を紹介しました。



足し算の加工であるAMを説明する笹原氏



金属粉末AMの活用事例を紹介する山本氏

海外展開支援

国内での経験を活かした海外展開

(一社)日本金型工業会 学術顧問 横田 悦二郎氏に、中小企業の海外展開について、素材メーカーでの海外実務経験をもとにお話いただきました。

その後のトークセッションでは、バンコク支所と中継を結び、現地での支援の重要性について活発な議論が交わされました。



鮮明な映像で来場者を驚かせたバンコク支所との中継

東京オリンピック・パラリンピックに向けたクールジャパン

こだわりを持ったものづくりが重要

(株)海外需要開拓支援機構 代表取締役社長 太田 伸之氏によるクールジャパン戦略に関する基調講演の後、フィギュアなどの製品に海外からも注文が殺到する(株)オビツ製作所代表取締役 尾櫃 充代氏に、国産にこだわるものづくりについてお話いただきました。続いて、都産技研 生活技術開発セクターおよび長野、岐阜、福岡、富山の公設試験研究機関による事例紹介を行いました。



葛飾区の地場産業であるスラッシュ成形を活用したものづくりについて語る尾櫃氏

ロボット実演・展示

研究開発が進む最新ロボット

都産技研で開発したT型ロボットベースを使用したさまざまなタイプのロボットをご紹介します。中でも、初披露したマスコットキャラクターのチリンロボットの音声認識による人追従機能のデモンストレーションに注目が集まりました。

この他にも、連携機関のロボットの展示・実演も行い、来場者から多くの質問が寄せられていました。



音声認識機能を搭載したチリンロボット



T型ロボットベース



T型ロボットベースを利用したロボット



日野おもてなしロボット



首都大学東京が開発を進めるロボット



見学会レポート

最新設備や事業を紹介する見学会

特別講演や研究成果発表に引き続き、事業や設備を紹介する見学会を開催し、200名以上の方々にご参加いただきました。

6月24日(水)に行った重点分野の見学コースでは、AM(3Dプリンター)ラボでの各AMの特徴紹介やバンコク支所とのオンライン相談の様子などをご覧いただきました。その後、新たに開設した東京ロボット産業支援プラザを初めて公開し、「ロボット産業活性化事業」の紹介を行いました。



AM(3Dプリンター)ラボで各AMの特徴を説明



住居やオフィスなどでのロボットの動作確認ができる東京ロボット産業支援プラザ

